

UMP-JUST: Unified Multiple Projects - JUST

世界レベルの情報系技術の研究開発の競争の激化
AI・データサイエンス及びその次の技術開発
情報系人材の世界的な争奪戦への対応
情報系人材の新たな教育モデルの導入

最先端の研究成果・学内研究機会増加
特別給院生の採用 短期の事業化推進
研究マッチング、人材マッチング
研究連携・教育連携 ⇒ オープン化

基本理念
 ・大学の基本理念を堅持しつつ
 社会展開への効果的な組織
 ・研究科施策及び卓越との連動
 ・人事系列と研究系列の分離

運営方針
 ・組織運営のための人材確保
 ・積極的かつ多角的な組織運営
 ・サポート組織として自立
 ・企業との共同教育が基本

情報理工学系研究科

教育・研究サポーター組織 UMP-JUST

大学と産業界の関係を強化し、教育研究活動を発展的に支える。

グループJ
技術専門企業

グループU
ユーザー企業

グループS
ベンチャー企業

グループT
技術総合企業

情報理工学系研究科の技術移転支援
 新規技術の相談、独創的技術の創出
 ・学内インターンシップ、学生PIも想定
 ・情報系学生のジョブマッチング機能
 ・独創的な新規技術の共同研究・技術移転の積極的創出

情報技術導入に積極的な企業支援
 情報関連科学技術の積極的応用展開
 ・情報系人材の新規企業への進出支援
 ・多様な学生のジョブマッチング機能
 ・社会人再教育、社会資本の教育還元に基づく共同教育の実践

技術を有し意欲のある専門企業支援
 新規技術の相談、特色ある技術の創出
 ・技術相談窓口の設置、技術移転の推進
 ・相談専門人材・メンターの積極的活用
 ・オンキャンパスジョブとして設定、プロジェクトファイナンス、信託の活用

情報系スタートアップ支援
 学生・教員のスタートアップの積極的支援
 ・専用ベンチャーファンドからの投資
 ・専門人材・メンターの活用
 ・スタートアップ前のファイナンス相談、技術開発支援、経営人材相談など

研究プロジェクト

教育プロジェクト

産学連携プロジェクト

分野融合展開
プロジェクト (IXT)

2019年度 開始

知能社会創造
研究センター (予定)

2019年度 設立予定

知能社会国際
卓越大学院プログラム

2019年度 本格開始

先端情報システム
開発センター (計画中)

2019年度 設立予定

社会受容性の高い技術の発掘プロセスの確立
 研究成果並びにPoCの迅速な社会への発信により、その社会受容性を検証し、新規事業開拓へ導く。

オンキャンパスジョブ

有能な学生を能力に見合った給料(可能なら、年収600万円)で雇用 → 博士学生の支援強化

- ・ICTの導入・活用により、様々な分野における強力手段を提供し、その結果として新たな知見を得て、融合分野として飛躍的な発展をめざす。
- ・東京大学が有する多様な研究分野の発展。
- ・トップダウン型アプローチとボトムアップ型アプローチの融合
→ 新分野・新価値創生

多様な分野融合 → IXT分野の新規開拓

学術への貢献 → 新規学術分野の開拓

基盤的要素技術

先端的要素技術

コンピュータ科学専攻

数理情報学専攻

システム情報学専攻

電子情報学専攻

知能機械情報学専攻

創造情報学専攻

ソシヤルICT研究センター

情報理工学教育研究センター

データ科学研究部門

情報セキユリシティ
教育研究センター

バーチャルリアリティ
教育研究センター

数理・情報
教育研究センター

次世代知能科学
研究センター

2019.2 2018.2 2017.2 2016.10
(全学)連携研究機構

情報理工学系研究科

情報理工学の各分野におけるディシプリンの深化

オンキャンパスニーズ

学内の情報化推進、大規模プロジェクトの情報基盤等に積極的に採用 → 先端技術を導入した大学

- ・ラピッドプロトタイピングの一環として、PoC (Proof of Concept)、MVP (Minimum Viable Product)等の作成のための環境整備
- ・System of Systems の積極的導入
- ・大学・企業の新規情報システムのアイデアを迅速に実現、PBL、能動的研究の実践
→ 社会受容性の実証

研究成果の社会への発信 → 社会・産業界の評価

社会受容性の検証・評価 → PoCの作成と発信